



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2017年(平成29年)9月25日号 No.1738

## 目次

■ロシア統一地方選挙結果速報	中馬 瑞貴	1
■トピックス		7
ウズベキスタンで外貨の売買自由化		7
三菱商事とユニクロロシア事業で合併会社		7
アゼルACG油田権益の25年延長で合意		7
プライメタルズがプラントをロシア社に納入		7
バジェロスポーツのロシア現地生産を再開		8
中国日通がカザフスタン鉄道と提携		8

## ロシア統一地方選挙結果速報

ロシアNIS経済研究所 研究員  
中馬 瑞貴

### はじめに

2017年9月10日、ロシアのほぼ全土に渡って統一地方選挙が行われた(イングーシ共和国、マガダン州、サンクトペテルブルグ市を除く)。17連邦構成主体で首長選挙、6構成主体で議会選挙、さらに多くの地方自治体で市長・行政長官の選挙や議会選挙が行われた。2018年3月に予定されている大統領選挙前最後の大掛かりな選挙ということで、連邦政府や与党「統一ロシア」にとっては国民の関心や支持を測る重要な位置づけであった。一方で多くの構成主体では目立った競争が見られず、有権者の関心はかなり低くなることが予想され、実際、前年の統一地方選挙で問題視された投票率の低さは今回の選挙でも同様であった。

本稿では、連邦構成主体レベルの選挙結果と、それに対するロシアの政治家、政治評論家らの評価について、現地の報道を元にお伝えする。

### 選挙結果

#### ■連邦構成主体首長選挙

2017年9月10日、16の連邦構成主体で住民による直接選挙、1構成主体で議会による間接選挙という形で首長選挙が行われ、すべての構成主体で現職首長または首長代行が勝利した。

中でも最も高い支持を集めたのは、2012年5月からモルドヴィア共和国の首長を務めるウラジーミル・ヴォルコフで、89.19%という圧倒的な得票率で再選を果たした。ヴォルコフは1995年から前任